

家族造形法の深度

研修会のご案内

家族造形法を使った事例検討 その9

早樫 一男

1988年に家族造形法と出会い20年以上経過しました。最初の頃は、家族面接ケースで実施していましたが、ある時期から事例検討などで利用することが中心となり、現在に至っています。家族造形法の進行役はもちろんのこと、時には、さまざまな家族役を担ってきました。

事例検討や援助者自身の「原家族」をテーマに扱ったプログラム（京都国際社会福祉センター主催 対人援助者のための自己覚知「原家族と向き合う」 団士郎先生と共同講師を務めています）において、参加メンバーのテーマに即した、さまざまな家族造形法の展開を体験する中で、その面白さや奥深さに惹かれていきました。

ところで、先日、家族造形法を用いて事例検討している場面を第三者として、動画で見る機会がありました。

その時の率直な感想は、「いったいこれは何をやっているのだろうか？」というわかり

にくさでした。

なぜ、このような印象を持ったのかについて考えてみると、たとえば、カメラのアングルや撮影意図との関連を無視できないということが浮かび上がりました。

動画は一台の固定のカメラで全体が降格で写るようにとセットされ、さらに、記録の意図を中心に撮影していたのです。非常に無機質なものであったと言えるかもしれません。

家族造形法を使った事例検討は、毎回、ある種のライブ感覚の中で、ケースと関わっているという実感があります。さらに、からだを通した感覚ともいえる肌合いや接触感、空気感や温度感を感じるようになるのです。もちろん、距離感が大きな意味合いをもたらすこともあります。

さらに、快・不快感、怒りや寂しさ、孤立・孤独感、居心地感等など、あえて言語で表現するならば、家族を造形すること（家族が造形されていくこと）を通して、何が

しかの「心情」が湧き上がってくる不思議さを参加者は感じたり、確かめ合ったりすることができるということが、家族造形法にしかない妙味であり、面白さであると言えるかもしれません。

撮影の仕方を考えることによって（例えば、カメラを複数にする、それぞれの家族メンバーの視点に合わせたアングルにする等など）、家族造形法の面白さが少しでも伝わるような工夫の余地はあるかもしれません。

映画やTVなどの映像を通して、見るものに感動を与えるといった場面では、事前にさまざまな手法や計算がなされた上で、訴えかける工夫や準備が充分になされています。

家族造形法も十分に撮影の準備がなされ、家族造形法の面白さや奥深さを伝える工夫ができない訳ではないかもしれません。

しかし、ライブ感覚からは距離が生まれた、作られた映像になってしまうかもしれません。

家族造形法の動画を第三者的に見る機会は、改めて、家族造形法の面白さや奥深さを伝えることの難しさを感じ、考えることができた時間となりました。

家族造形法を使った事例検討は家族としての体験に近づけること、援助者を含めたシステムについても考えたり、感じることができること、家族の変化のイメージを作ることによって援助の方向性を味わってみることができることなど、さまざまな発見が生まれてくるのです。

ということで、研修会の案内としては、非常に長い前置きになってしまいました。

家族造形法の面白さを動画や文章では伝えにくいだけに、少しでも多くの人に直接伝える機会を作りたいと考え、次ページのような研修会を企画いたしました。タイトルは「家族造形法の深度 ～二日間 家族造形法 ざんまい～」です。

二日間の内容としては、以下のような予定です（あくまでも予定であり、告知もなく、突然、変更する場合がありますが、ご了承ください）。

- ① オープニングは、これまで、家族造形法を使ってきた早樫が家族造形法について語った後、参加者と家族造形法を体験します。
- ② 家族造形法を使った事例検討の経験を通して、古川先生・村本先生・興津先生の3人のゲストスピーカーが自由に語ります。
- ③ この機会に交流会も企画しています。立食形式で、自由に語り交流を深めたいと思います。
- ④ 二日目のスタートは、団先生の経験を通じた語りです。内容はお楽しみに。
- ⑤ さらに、「実践的事例検討」はジェノグラムと家族造形法のコラボレーション企画です。
- ⑥ ゲストスピーカーの岡田先生にも、フリーに語っていただく予定です。

家族造形法をキーワードにした二日間の研修。

初秋の京都を楽しんでいただけるかもしれません。

みなさまの参加をお待ちしております。

「家族造形法の深度」(研修会のご案内)

～ 二日間 家族造形法 ざんまい ～

○日時 2012年9月29日(土)13時(受付) ～ 30日(日)16時

○場所 同志社大学継志館2階 201会議室

(〒602-0932 京都市上京区新町今出川下ル徳大寺殿町345)

○定員 50名

○参加費 5000円

交流会費 5000円(立食パーティー フリードリンク付)

○タイムスケジュール(予定)

29日(土)

13:00 「受付」

13:30～15:30 「家族造形法を語る① そして、体験する」

スピーカー及び進行役:早樫一男(同志社大学)

16:00～18:30 「家族造形法を語る②」

ゲストスピーカー

古川秀明(ふるかわ家族カウンセリング研究所)

村本邦子(女性ライフサイクル研究所 立命館大学)

興津真理子(同志社大学) 他

19:00～「交流会」 寒梅館7階 「SECOND HOUSE WILL」

30日(日)

9:30～10:30 「家族造形法を語る③」

スピーカー:団 士郎(仕事場D・A・N 立命館大学)

10:30～12:00 「実践的事例検討:家族の物語を中心に」

進行役:千葉晃央(京都国際社会福祉センター)

ゲストコメンテーター(午前・午後とも)

岡田隆介(広島市児童療育センター)

12:00～13:30 昼食休憩

13:30～15:30 「実践的事例検討:家族造形法を中心に」

進行役 早樫一男、古川秀明

15:30～16:00 クロージング

○申し込み、問い合わせは [メール khayakas@mail.doshisha.ac.jp](mailto:khayakas@mail.doshisha.ac.jp)

もしくは FAX 0774-65-7097 (いずれも早極宛て)

○申し込み内容 名前、年齢、性別、所属、
連絡先アドレス、携帯(電話)番号

○申し込み期限 8月26日(日)
期限前でも定員になり次第お断りします。
期限直前の申し込みは事前にお問い合わせください。

○その他

- ・ 宿泊が必要な方は各自で手配してください。
- ・ 参加費、交流会日は当日徴収します。
- ・ 家族造形法については、「対人援助学マガジン」のHPより、「家族造形法の深度」を参照ください。

※会場の案内



交通機関

- ・ JR 京都駅から地下鉄烏丸線 今出川駅 6番出口から徒歩 5分
- ・ 京阪電鉄京阪本線 出町柳駅から徒歩 20分
- ・ 京都市バス 上京区総合庁舎前から徒歩 3分
- ・ 京都市バス 烏丸今出川から徒歩 7分